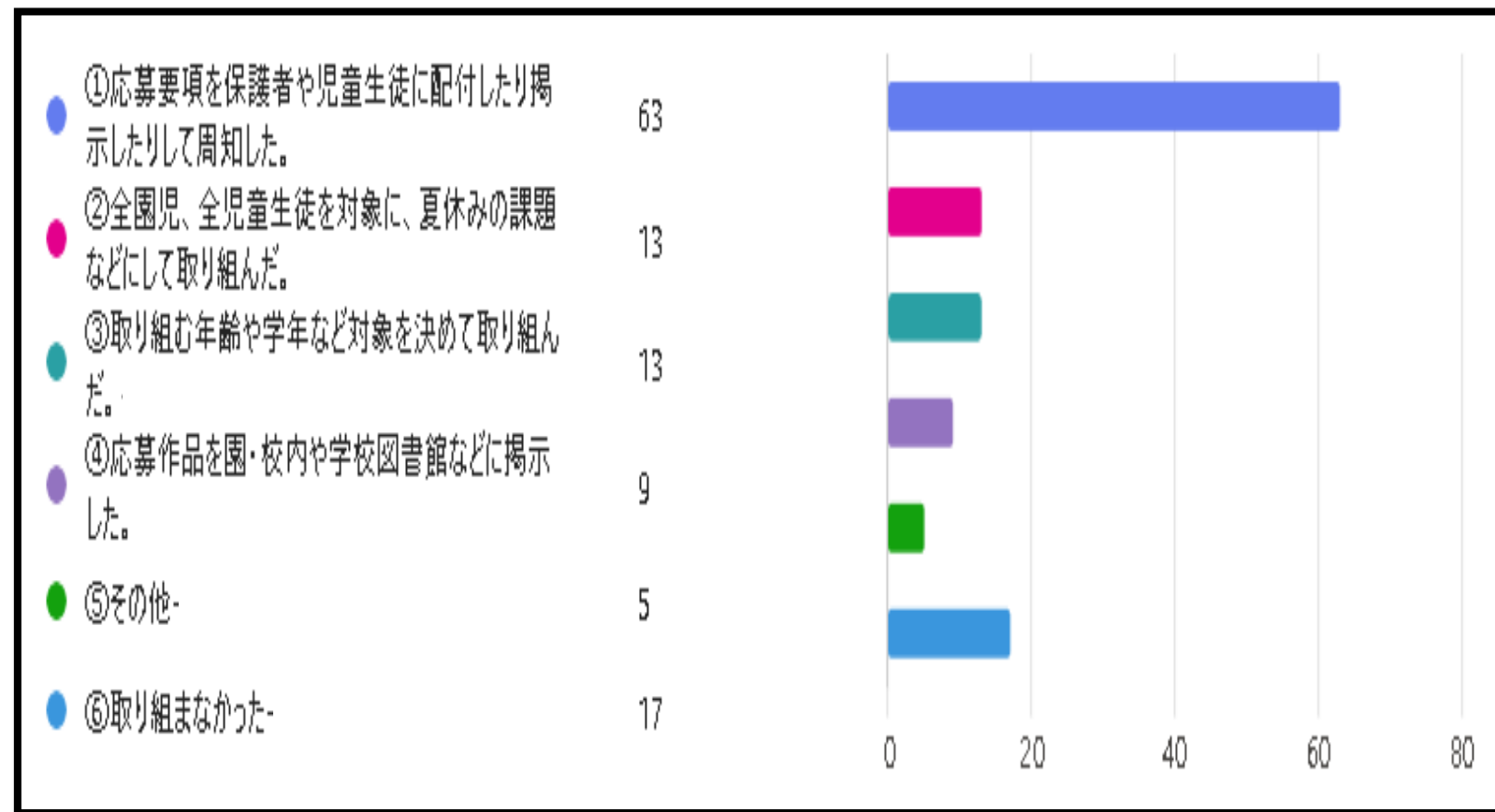


「令和6年度 読書大好き!アクションプラン」アンケート調査の結果

令和7年2月17日～3月3日の期間で「やましろ未来っ子支援事業『読書大好き!アクションプラン』」の取組状況アンケートを実施し、20園・75校からいただいた回答をまとめました。御意見については、今後の事業の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

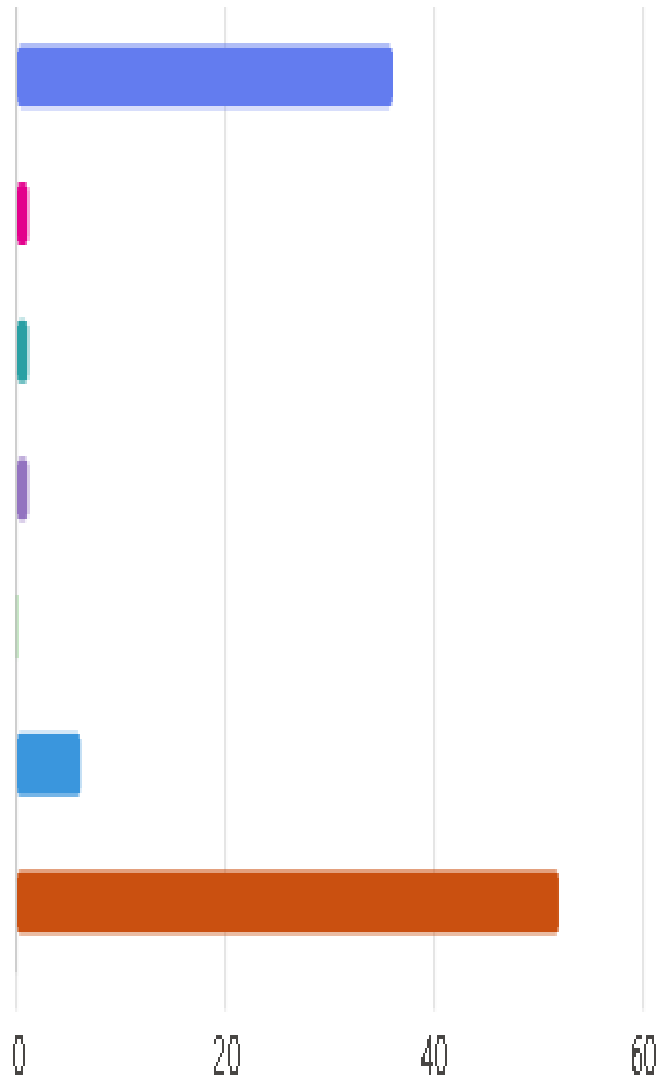
1. 夏の読書月間「本とおともだちカードコンテスト」「本のポップカードコンテスト」の取組について実施されている内容（複数回答可）



- ・「取り組む年齢や学年など対象を決めて取り組んだ」では、小学校4～6年生や図書委員会の児童生徒が取り組んだ、という回答が多く見られました。
- ・作品を市立図書館や市役所のロビーに展示された学校もありました。
- ・「本とおともだちカードコンテスト」や「本のポップカードコンテスト」に取り組まなかった理由としては、他の読書に関する取組や他の課題への取組などが挙げられました。

2. 秋の読書月間「家族で読書!20分ひとこと感想」の取組について実施されている内容(複数回答可)

①感想記入用紙を配布や掲示して周知した。	36
②感想記入用紙を回収し、園・校内掲示や学校図書館に掲示した。	1
③感想記入用紙を回収し、コメントなどして返却した。	1
④全園児、全児童生徒を対象に取り組んだ。	1
⑤取り組む年齢や学年など対象を決めて取り組んだ。	0
⑥その他	6
⑦取り組まなかった。	52



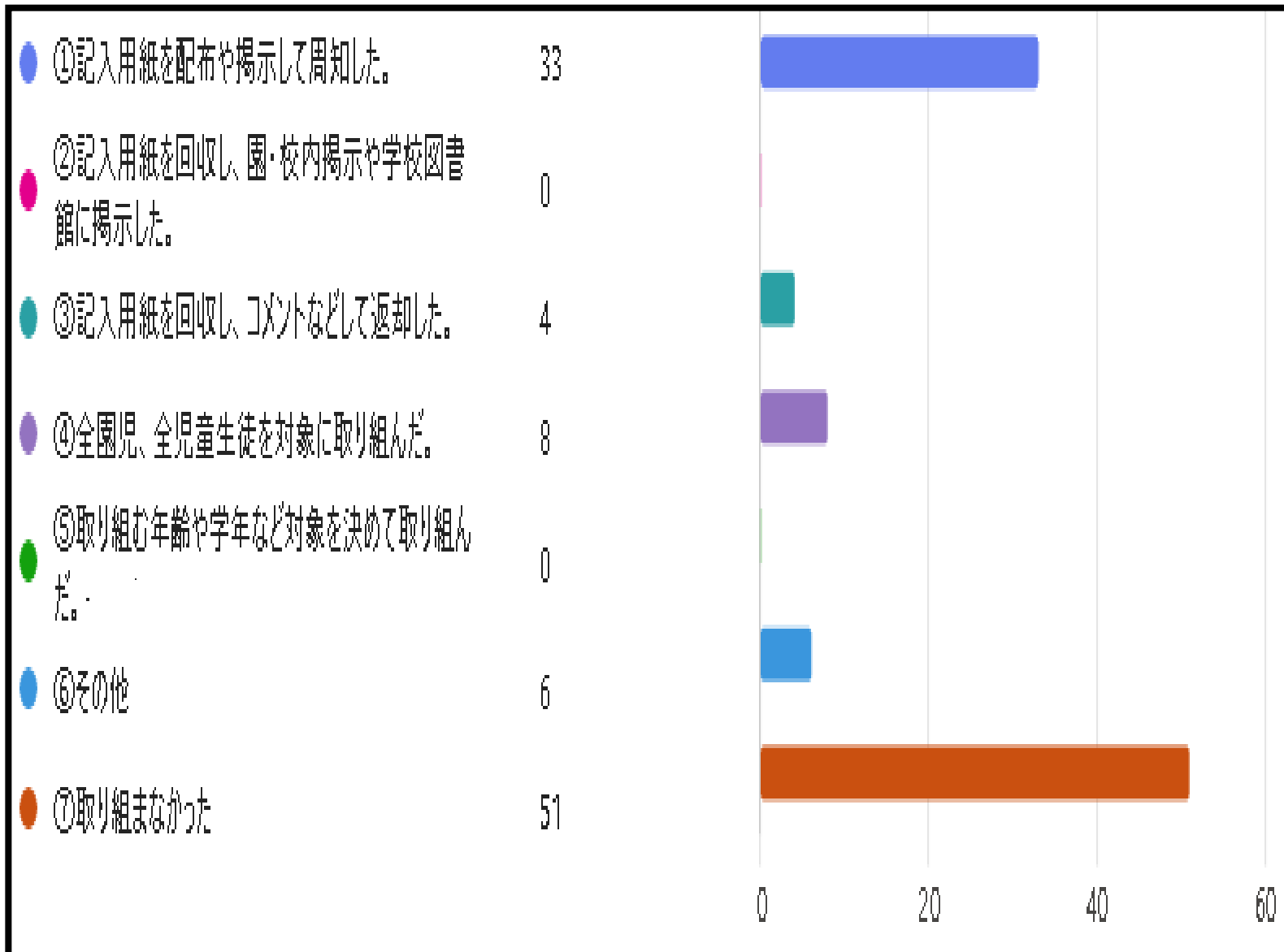
○「その他」の取組としては次のような内容が挙げられました。

- ・学校のホームページに取組について掲載し周知した。
- ・様式を変えてひとこと感想の用紙を作り、全年齢の園児に配付し、絵本の感想や子どもの絵を募集した。
- ・2学期の家庭学習習慣の取組で、家族で読書に取り組む項目を入れて取り組んだ。

○「取り組まなかった」理由として多かったのは「学校で『秋の読書週間』や『読書月間』取組を行っているため取り組まなかった」でした。他には次の理由が挙げられました。

- ・他の行事や課題と重なり取り組まなかった。
- ・国語科の学習の中で感想を書く取組や読書感想文の指導を行っている。
- ・取組には保護者の理解や協力が求められ、年間計画に入れておくことが必要。

3. 年間を通した取組としての「目標読書『ブックウォーク』にチャレンジ!」の取組について実施されている内容(複数回答可)



○「その他」の取組としては次のような内容が挙げられました。

- ・夏休みの自由課題等で周知した。
- ・先生方に周知した。
- ・「『ブックウォーク』にチャレンジ」としては取り組んでいないが、週に1回絵本の貸し出しをして、家庭で親子で絵本を楽しむ取組を行った。

○「取り組まなかった」理由として多かったのは「学校独自で別途取組(読書ビンゴ・読書ノート・読書貯金・読書記録アプリ等)をしているため」でした。他には次の理由が挙げられました。

- ・校内で図書委員会活動と連携した取組を行っている。
- ・読書冊数ではなく、本との出会いを大切にしている。
- ・まずは読書への興味を高めることをねらいとし、特に目標冊数等は設定しなかった。
- ・「目標読書『ブックウォーク』にチャレンジ」の取組を知らなかった。

4. 「本とおともだちカードコンテスト」「本のポップカードコンテスト」について（一部抜粋して掲載）

- ・本に触れるきっかけになるので良い取組だと思う。
- ・園児が取り組める良い取組だと感じる。
- ・毎年この取組を楽しみに喜んで応募される姿があり、子どもの読書活動につながっていると感じる。
- ・生徒たちも楽しんで取り組んでおり、読書に触れる良い機会となった。
- ・本の魅力を短い言葉で伝える工夫をすることで、要点をまとめる力や表現する力が伸びました。
- ・「読みたい」と思ってもらえるポップカードを作るために、絵や短いフレーズを工夫して取り組んでいる子どもたちが多かったです。
- ・応募期間があと1カ月ほどあれば2学期の授業等で実施できる。
- ・応募規定（サイズや形など）にもう少し自由度があれば、もっと楽しく取り組める。
- ・ポップの書き方のポイントやコツなどがわかりやすい教材等があれば参考にしたい。

6. 園・校での工夫した読書活動の取組

- ・読み聞かせ（図書ボランティアの方々・地域の方々・保護者・教職員・児童生徒同士、異年齢児童生徒同士など）
- ・特設コーナーや図書室環境の整備（居心地の良い空間作りや季節や行事に応じた本の紹介など子どもが興味を持てるような工夫）
- ・図書だよりや小冊子等でお薦めの本の紹介、教職員のおすすめの本や紹介のポスターを作って校内に掲示。
- ・図書委員の児童生徒による読書啓発活動（読み聞かせ、読みたい本のアンケート、動画の作成、お薦めの本の冊子の作成など）
- ・選書会（児童生徒・教職員・保護者の参加、一人一台端末を使ったオンライン選書会など）
- ・一人一台端末へ出版社の「読み放題型電子図書館」を導入し、読書環境を整備。
- ・朝読書、全校一斉読書
- ・本の福袋、ブックウォーク・読書マラソン、図書ビンゴ、読書の木、題名でしりとり読書、課題読書など、様々なジャンルの本に親しむ工夫。
- ・ブックトーク・アニメーション
- ・本のリユース
- ・毎週、園内の絵本を貸出して家庭で絵本を楽しむことができるような工夫。

5. 学校、家庭、地域が連携して子どもの読書活動を推進していくために、研修会で取り上げてほしい内容（一部抜粋して掲載）

- ・読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトルなどの具体的な手法や本の選び方などについて。
- ・電子書籍などデジタルを活用した読書活動について。
- ・子どもたちが読書をしたくなるような取組や本を手に取りやすくするための手立て。
- ・読書によって育まれる力や、読み聞かせの効果など、読書や読み聞かせの大切さについて。
- ・学校図書館司書との連携や学校全体で読書推進活動をどのように進めていくか。
- ・家庭・学校・地域がどのように連携していくか、家庭への読書啓発について。
- ・先進的な取組をしている実践事例や近隣地域の園・学校の取組。